

CE600/CE602

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書はATENジャパン株式会社において、CE600/CE602 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2014 年 10 月 24 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではありません。

キーボード、マウス、モニター、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30 日	初期不良、新品交換※1
	31 日～3 年間	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30 日	初期不良、新品交換※1
	31 日～2 年間	無償修理
	2 年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL（生産終了）が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それでも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではありません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予想できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
EMC 情報	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006	4
安全にお使い頂くために.....	5
全般	5
ラックマウント	7
同梱品.....	8
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
第1章 はじめに.....	11
概要	11
特長	13
システム要件.....	14
コンソール.....	14
コンピューター	14
ケーブル	14
OS.....	15
製品各部名称	16
CE600L/CE602L(ローカルユニット)フロントパネル	16
CE600R/CE602R(リモートユニット)フロントパネル	17
CE600L/CE602L(ローカルユニット)リアパネル.....	18
CE600R/CE602R(リモートユニット)リアパネル	19
第2章 セットアップ方法.....	20
ラックへの取り付け.....	20
セットアップ	22
製品の接地.....	22
セットアップ	24
接続図	26

第3章 操作方法.....	28
画像調整.....	28
LED 表示.....	28
CE600L/CE602L(ローカルユニット).....	28
CE600R/CE602R(リモートユニット).....	29
第4章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ.....	30
作業を始める前に.....	30
アップグレードの開始.....	32
アップグレードの成功.....	34
アップグレードの失敗.....	34
付録.....	35
製品仕様.....	35
CE600.....	35
CE602.....	37
トラブルシューティング.....	39

EMC 情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 のデジタル装置 Class A の規定に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉が発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を全て受け入れる。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

CE による注意:本製品は Class A に準拠した製品です。本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。その際は、ユーザーご自身にて、適切な処置を行ってください。

提案:FCC および CE 規格を確実に順守するために、STP ケーブルを使用するようにしてください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款，但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがあります

ので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。

- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

同梱品

CE600/CE602 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CE600L/CE602L DVI KVM エクステンダー (ローカルユニット) ×1
- ◆ CE600R/CE602R DVI KVM エクステンダー (リモートユニット) ×1
- ◆ 1.8m USB DVI-D シングルリンク KVM ケーブル (CE600) ×1
- ◆ 1.8m USB DVI-D デュアルリンク KVM ケーブル (CE602) ×1
- ◆ 電源アダプター ×2
- ◆ ラックマウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CE600/CE602 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

第1章 はじめに: CE600/CE602 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明します。

第2章 セットアップ: 素早く安全に CE600/CE602 をセットアップするための手順について説明します。

第3章 基本操作: CE600/CE602 の機能概要および操作方法について説明します。

第4章 ファームウェアアップグレードユーティリティ: お使いの CE600/CE602 のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→ 矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

CE600/CE602 は RS-232 シリアル機能を備えた DVI・USB 対応の KVM エクステンダーです。本製品を使用するとリモートコンソール (USB キーボード、USB マウスおよびモニター) からコンピュータシステムにアクセスすることができるので、コンソールは便利な場所に置きながら、コンピュータシステムは例えば、埃などが多い工場現場や建設現場の過酷な環境から離れた安全な場所に置くという要件であれば、CE600/CE602 は、どのような場所にもでもセットアップすることができます。このため、ユーザーはシステム機器の距離をかなり離して設置することができます。

CE600/CE602 はコンソールをユーザーが操作するのに最も便利な場所に置いておくのと同時に、システムユニットは安全な場所に置いておくことができるので、管理やセキュリティの面からとても便利です。これは機密性の高いデータシステムを管理するのに理想的です。

CE600 はカテゴリ 5e ケーブル (DVI シングルリンク) 1 本を使用し、解像度は最大 1,920×1,200 まで対応しています。CE602 は解像度が最大 2,560×1,600 (DVI デュアルリンク) まで対応し、カテゴリ 5e ケーブルを 2 本使用し、そのうちの 1 本で HDCP、RS-232、マイクروفोनおよびデュアルリンク信号を送信することができます。

CE600/CE602 は以下の点で従来の機種よりも改良が加えられています。1) デュアルリンク対応 (CE602)。2) RS-232 ポートをローカルとリモートユニットの両方に追加したので、ローカルユニットの RS-232 ポートはコンピュータへ接続し、リモートユニットの RS-232 ポートはタッチスクリーンやバーコードスキャナーのようなシリアルデバイスを接続することが可能。3) 高価でかさばる標準 DVI ケーブルを使用する代わりに、安価で、取り回しがよく、便利で信頼性のあるデータ通信接続が可能なカテゴリ 5e ケーブルを使用。4) カスタム ASIC 機能により信頼性と互換性を最大限に確保することが可能。

さらに、CE600/CE602 はリモートユニットに EQ スイッチを搭載し、リモートコンソールの画像を調整することができます。

セットアップはローカルユニットをコンピューターに接続し、ローカルユニットから最長 60m までのカテゴリ 5e ケーブルを使用してリモートユニットを接続し、最後にリモートユニットにリモートコンソールを接続するだけなので、とても簡単です。

特長

- ◆ カテゴリ 5e ケーブルを使用してローカルとリモートユニットの距離を最長 60m まで延長
- ◆ リモートコンソールから最長 60m 先にあるコンピューターまたは KVM スイッチへのアクセスが可能
- ◆ リモートコンソール(USB キーボード、USB マウス、DVI 対応モニター)からコンピューターシステムの操作が可能
- ◆ DVI-D インターフェース対応。DVI デュアルリンク信号伝送に対応(CE602)
- ◆ カテゴリ 5e ケーブル 1 本で A/V 信号の伝送を実現した ATEN の独自技術搭載
- ◆ 2 本目のカテゴリ 5e ケーブルでは HDCP、RS-232、マイクロフォンおよびデュアルリンク信号が伝送可能(CE602 のみ)*
- ◆ 延長距離に応じて手動で信号の補正が可能
- ◆ RS-232 シリアルポート搭載—タッチスクリーンやバーコードスキャナー等のシリアルターミナルやシリアルデバイスが接続可能(ボーレート 115200bps)
- ◆ オーディオ対応—ステレオスピーカーおよびマイクロフォン対応
- ◆ 8KV/15KV 静電放電防止機能搭載 (接触電圧 8KV、空中電圧 15KV)
- ◆ 解像度—2,560×1,600@60Hz(デュアルリンク、40m、CE602 のみ)、
1,920×1,200@60Hz(30m)、1,024×768@60Hz(60m)、長距離の延長でも高品質
- ◆ ホットプラグ対応
- ◆ ラックマウント対応
- ◆ 簡単インストーラー—ソフトウェア不要、セットアップはケーブルを接続するだけ
- ◆ ファームウェアアップグレード対応
- ◆ ワイド画面のフォーマットに対応**

注意: * カテゴリ 5e ケーブルの長さは 2 本とも同じ長さでなければなりません。
 ** ワイド画面からの EDID データは、ローカル側のビデオ出力ポートから送出されます。ワイド画面用モードやワイド画面対応のディスプレイの場合には、モニターをローカル側のビデオ出力ポートに接続するか、ATEN の EDID エミュレーターをお使いください。

システム要件

コンソール

- ◆ 接続するコンピューターの最高解像度に対応する DVI シングルリンクまたは DVI デュアルリンク対応モニター
- ◆ USB キーボード
- ◆ USB マウス
- ◆ ステレオマイクロフォンおよびステレオスピーカー (オプション)

コンピューター

システムに接続する各コンピューターには以下のハードウェア環境が必要です。

- ◆ DVI ポート
- ◆ マウスとキーボード用の USB ポート 2 つ
- ◆ マイクロフォンおよびスピーカーポート (オプション)

ケーブル

- ◆ 信号の整合性を最適にし、配置を簡単にするためにも、本製品に同梱されている高品質の専用 KVM ケーブルの使用をお勧めします。
- ◆ CE600/CE602 のローカルとリモートユニットを接続するためにはカテゴリ 5e ケーブルが必要です。品質のよくないケーブルを使用すると画像信号の劣化を招きますので、カテゴリ 5e ケーブルのご使用をお勧めします。
- ◆ 長距離伝送の場合、弊社 Cat5e ケーブルのご使用を推奨致します。

ケーブル最長延長距離

接続	最長延長距離
コンピューターからローカルユニット (CE600L/CE602L) まで	5m
ローカルユニット (CE600L/CE602L) から リモートユニット (CE600R/CE602R) まで	60m
リモートユニット (CE600R/CE602R) からモニターまで	5m

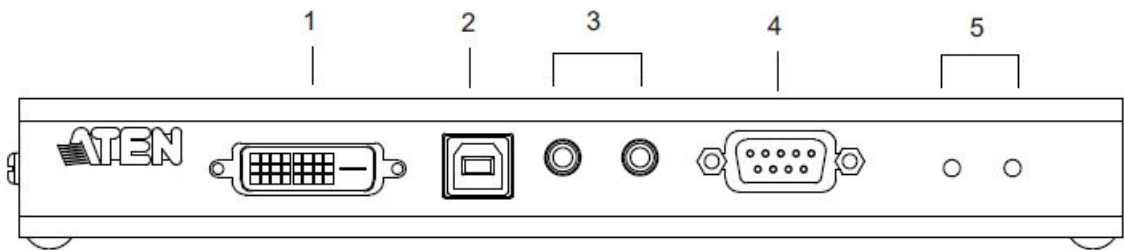
OS

対応する OS は下表の通りです。

OS		バージョン
Windows		2000 / 2003 / 2008 / XP / Vista / 7
Linux	RedHat	9.0 以降
	SuSE	10 / 11.1 以降
	Debian	3.1 / 4.0
	Ubuntu	7.04 / 7.10
UNIX	FreeBSD	5.5 / 6.1 / 6.2
Novell	Netware	6.0 以降

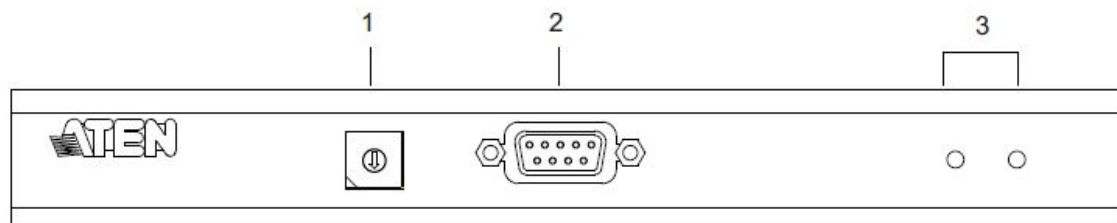
製品各部名称

CE600L/CE602L(ローカルユニット)フロントパネル



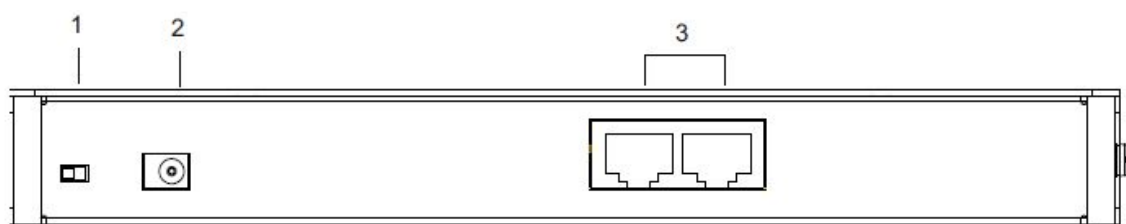
No.	名称	説明
1	DVI ポート	コンピューターからの DVI ケーブルをここに接続します。
2	USB タイプ B インプ ット	コンピューターまたは USB ハブからの USB ケーブルをここに接 続します。
3	オーディオポート	このミニステレオポートはスピーカー (グリーン) およびマイクロフ ォン (ピンク) 用です。
4	RS-232 シリアルポート	コンピューターからの RS-232 ケーブルをこのポートに接続しま す。
5	LED ランプ	CE600/CE602 には LED ランプが 2 つあり、ユニットの操作状況 を表示します。詳細は、p.28 をご参照ください。

CE600R/CE602R(リモートユニット)フロントパネル



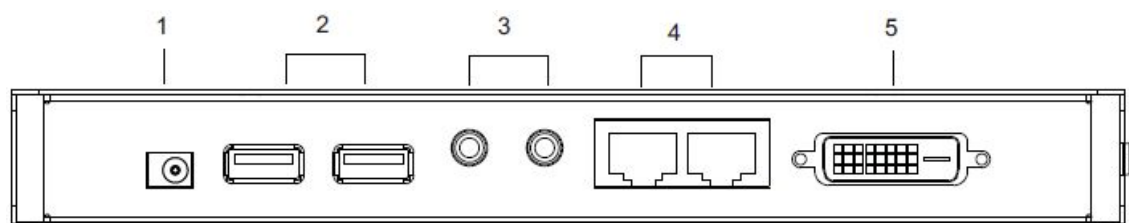
No.	名称	説明
1	EQ スイッチ	リモートコンソールの画質調整をする際に使用します。
2	RS-232 シリアルポート	タッチスクリーンやバーコードスキャナーのような RS-232 シリアルデバイスをこのポートに接続します。
3	LED ランプ	CE600R/CE602R には LED ランプが 2 つあり、操作状況を表示します。詳細は、p.29 をご参照ください。

CE600L/CE602L(ローカルユニット)リアパネル



No.	名称	説明
1	ファームウェア アップグレード スイッチ	このスイッチを On にするとファームウェアアップグレードモードを起動します。ファームウェアアップグレードを実行するには電源をリセットします。 ノーマルモードに戻り、電源をリセットするには、このスイッチを Off にします。
2	電源ジャック	電源アダプターからのケーブルをここに接続します。
3	サブ/メイン	リモートとローカルユニットを接続するカテゴリ 5e ケーブルをここに接続します。 デュアルリンク DVI(CE602 のみ) : ケーブル 2 本を使用します。 シングルリンク DVI : ケーブルを 1 本使用します (メインからメイン)。 (注意: HDCP、RS-232、マイクロフォンおよびデュアルリンク信号を送信する場合は、メインとサブの両方にカテゴリ 5e ケーブルを接続しなければなりません。)

CE600R/CE602R(リモートユニット)リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ジャック	電源アダプターからのケーブルをここに接続します。
2	USB	キーボード/マウスからの USB ケーブルをここに接続します。
3	オーディオポート	このミニステレオポートはスピーカー (グリーン) とマイクロフォン (ピンク) 用です。
4	サブ/メイン	リモートとローカルユニットを接続するカテゴリ 5e ケーブルをここに接続します。 デュアルリンク DVI(CE602 のみ): ケーブル 2 本を使用します。 シングルリンク DVI: ケーブルを1本使用します(メインからメイン)。 (注意: HDCP、RS-232、マイクロフォンおよびデュアルリンク信号を送信する場合は、メインとサブの両方にカテゴリ 5e ケーブルを接続しなければなりません。)
5	DVI ポート	この DVI ポートに対応するモニターを接続します。

第2章 セットアップ方法

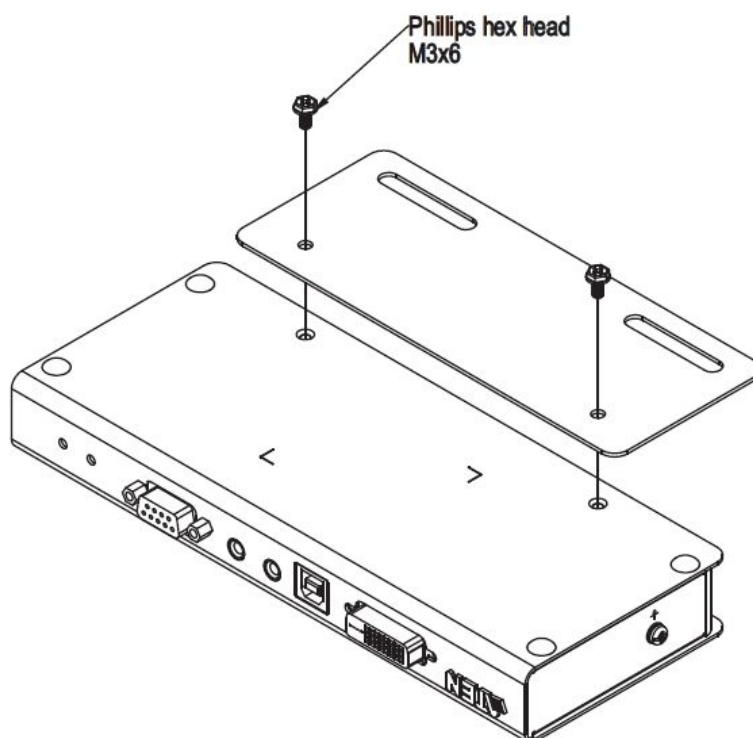


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.5 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

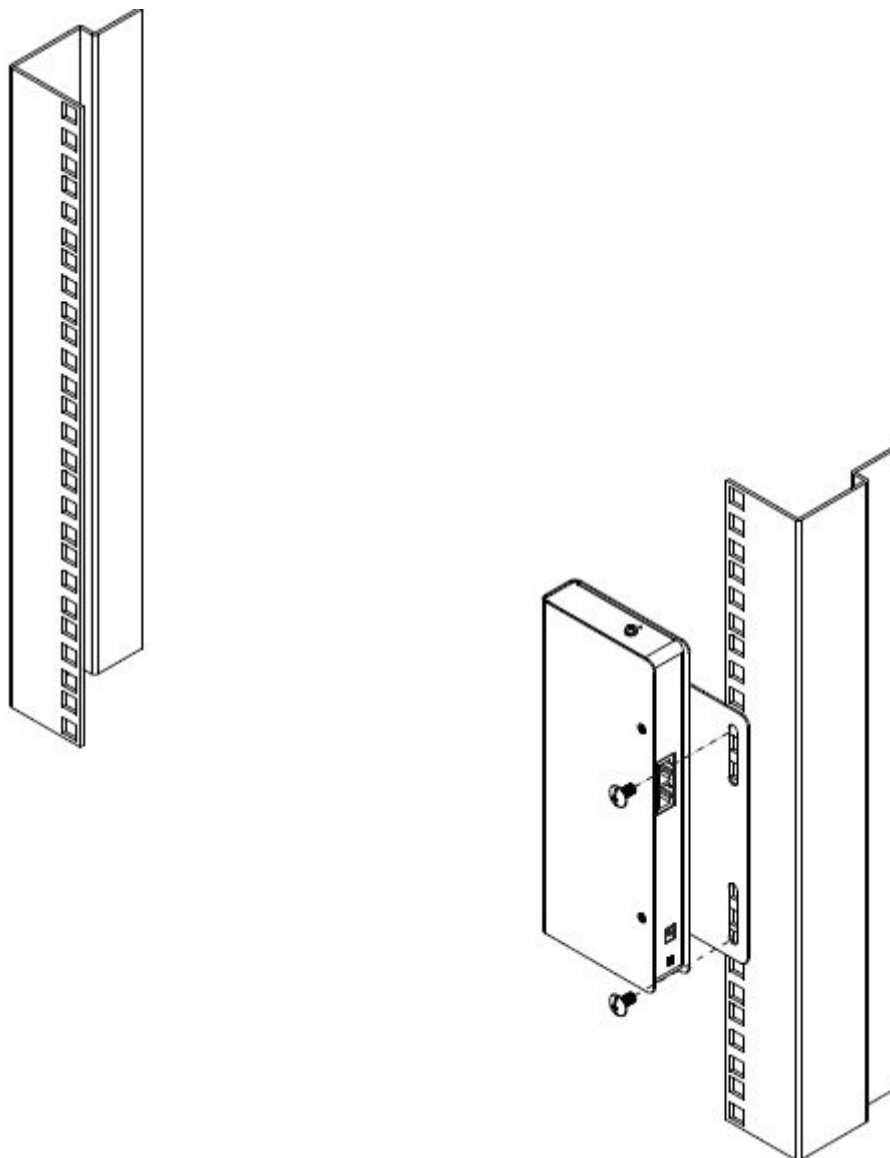
ラックへの取り付け

便利で柔軟性を持たせるために、CE600/CE602 はシステムラックに取り付けることができます。本製品をラックへ取り付けるには、下記の手順に従ってください。

1. ラックマウントキットに同梱されているネジを使用して、下図のように本製品の上面または底面にマウント用の金具をネジ止めしてください。



2. 手順 1 で取り付けした金具をラックの適当な場所にネジ止めしてください。



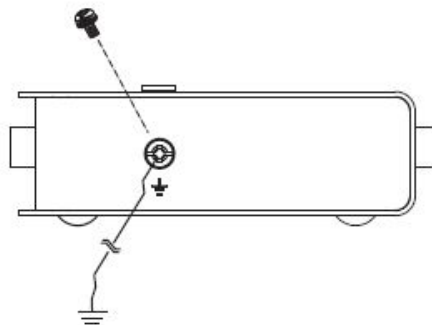
注意: ラックにマウントするためのネジは同梱されていません。お使いのラックに適したネジを別途ご用意ください。

セットアップ

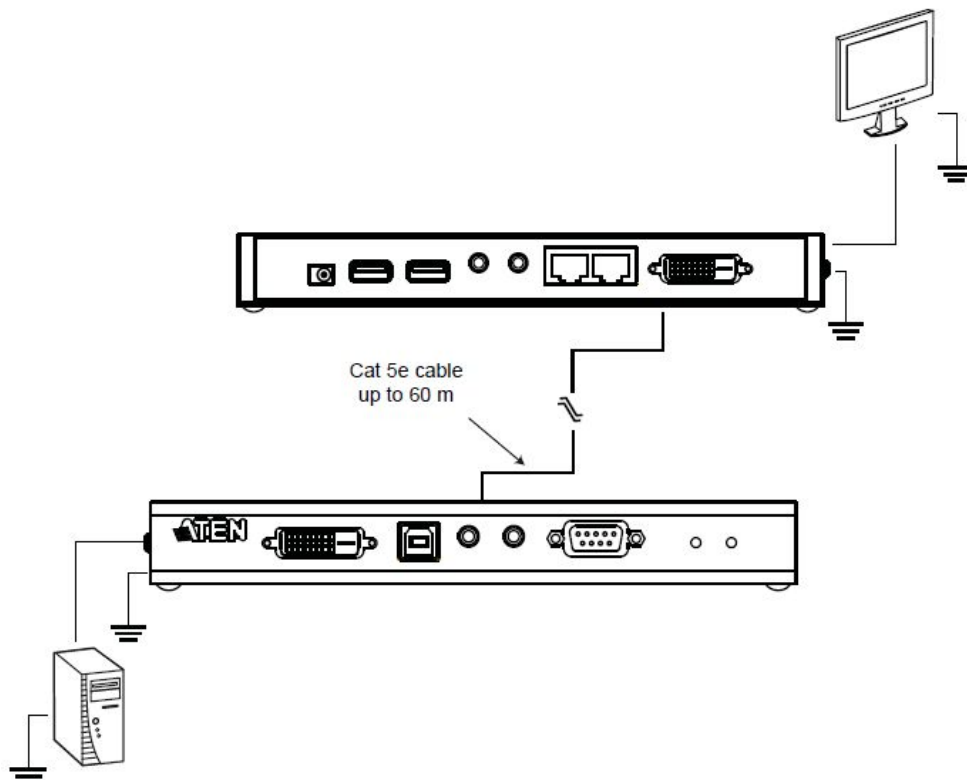
製品の接地

ご使用の機器への破損を防ぐために、ご使用する機器すべてに適切な接地をしてください。

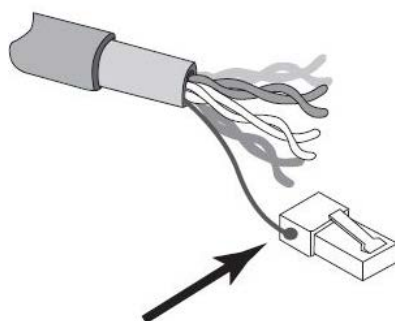
1. 本製品に同梱の接地線 2 本を使用して、接地線の一端を製品のグラウンドターミナルに、もう一端を適切な接地物にそれぞれ接続して、各ユニットの接地を行ってください。



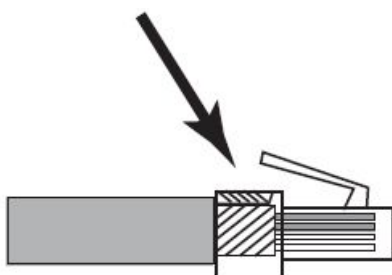
2. ローカルユニットに接続されているコンピューターおよびリモートユニットに接続されているモニターにもそれぞれ正しく接地してください。



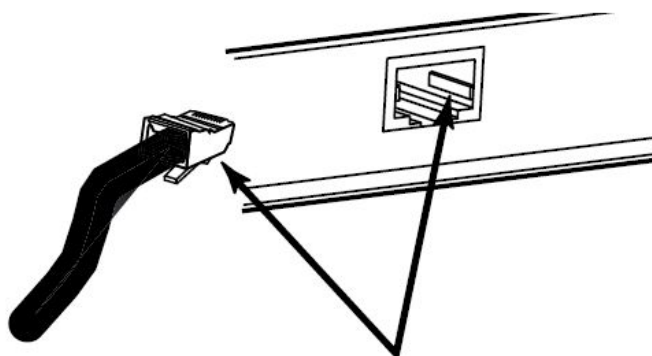
3. 接地の効果を高めるために、ローカル/リモートの各ユニットはSTPケーブルを使って接続してください。方法は2種類あります。
- a) STPケーブルには、信号の伝送に使用する8線以外に接地線を有しているタイプがあります。このタイプのケーブルの場合は、接地線を図のようにRJ-45コネクタにはんだ付けしてください。



- b) 2つ目の方法はSTPケーブルシールドをアースとして使用しているタイプのものです。その場合、下図のようにRJ-45コネクタの中の上部がしっかりとシールドに接触していることを確認してください。



いずれの方法においても、下図のようにRJ-45コネクタのサイドがRJ-45ソケットのサイドにある接地接点としっかり接していることを確認してください。



セットアップ

CE600/CE602 DVI KVM エクステンダーのセットアップに必要な作業は、ケーブルを接続するだけです。接続するデバイスの電源がすべて切られていることを確認してください。次ページにある接続図を参考にしながら、下記の手順でセットアップを行ってください。

1. 本製品に同梱されている DVI KVM ケーブルの各コネクタをローカルユニット (CE600L/CE602L) のフロントパネルにある適切なポートへそれぞれ接続してください。
2. 手順 1 の DVI KVM ケーブルのもう一方の端をローカルコンピューターの適切なポートにそれぞれ接続してください。各コネクタにはそれぞれのアイコンが描かれています。

注意: CE600/CE602 に KVM スイッチを組み合わせる場合は、手順 1 の DVI KVM ケーブルのもう一方の端を KVM スイッチの適切なポートに接続してください。

3. シリアルデバイスを操作するには、ローカルユニットの RS-232 シリアルポートをローカルコンピューターのシリアルポートに接続してください。
4. カテゴリ 5e ケーブルを CE600L/CE602L のサブ/メインポートに接続してください。このカテゴリ 5e ケーブルのもう一方の端をリモートユニット (CE600R/CE602R) のサブ/メインポートに接続してください。

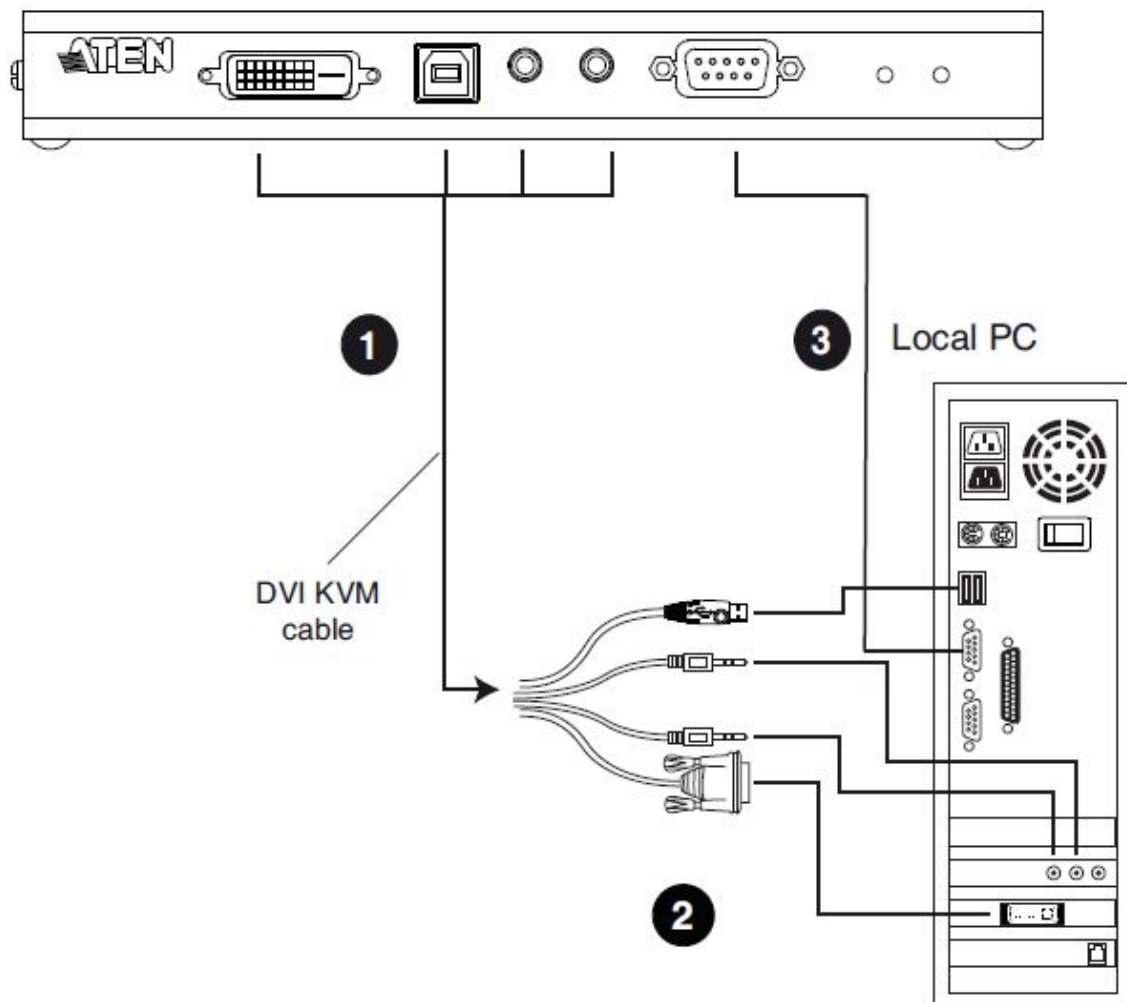
注意: DVI デュアルリンクまたは HDCP に対応する (CE602 のみ) には、メインおよびサブポートの両方を使用します。2 本目のケーブルは HDCP、RS-232、マイクロフォンおよびデュアルリンク信号の送信に使用されます。また、カテゴリ 5e ケーブルは 2 本とも同じ長さでなければなりません。シングルリンク DVI を使用したセットアップでは、必要なカテゴリ 5e ケーブルは 1 本だけです (メインポートからメインポートへ接続)。

5. 本製品に同梱の電源アダプター 1 つを電源コンセントに接続してから、電源アダプターからのケーブルを CE600L/CE602L の電源ジャックに接続してください。
6. リモートコンソールデバイス (マウス、キーボード、モニター、スピーカーおよびマイクロフォン) からのケーブルをそれぞれ CE600R/CE602R のコンソールサイドにある適切なポートにそれぞれ接続してください。

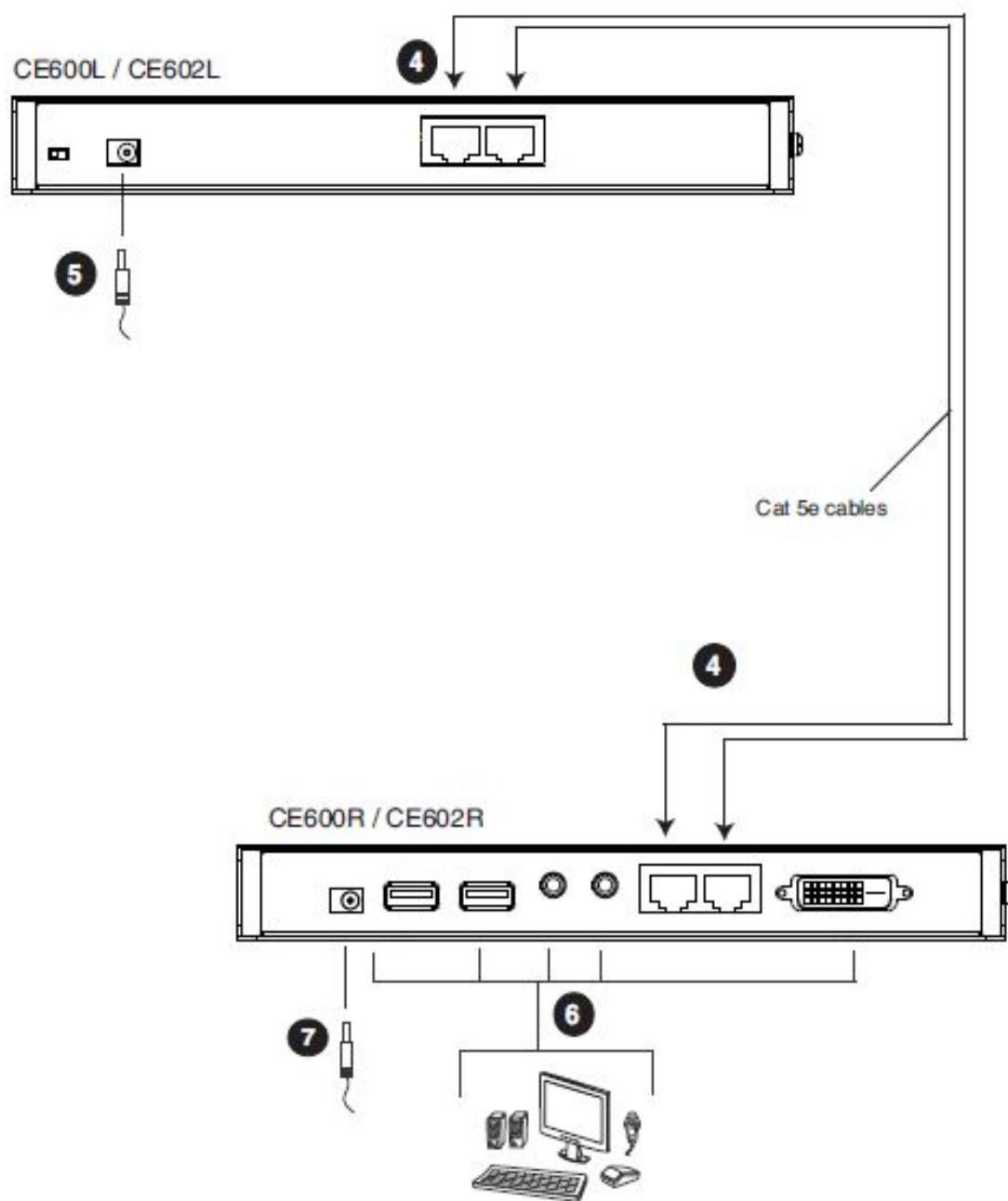
7. 本製品に同梱の残りの電源アダプター1つを電源コンセントに接続してから、電源アダプターからのケーブルを CE600R/CE602R の電源ジャックに接続してください。

接続図

フロントパネル



リアパネル



- 注意:
1. CE600L/CE602L にあるシリアルポートはコンピューターに接続し、CE600R/CE602R にあるシリアルポート(図では表示されていません)はシリアルデバイスに接続します(オプション)。
 2. 上記の接続図は、カテゴリ 5e ケーブル 2 本を使用するデュアルリンク DVI での接続を表しています(CE602 のみ)。

第3章 操作方法

画像調整

イコライザーを調節し、画像のちらつきを改善するには、EQ スイッチを使用してください。

イコライザーの値の範囲は 0～7 です。

- ◆ 7:強
- ◆ 0:弱

LED 表示

CE600/CE602 のローカルおよびリモートユニットのフロントパネルには LED があり、下表のように動作状況を表示します。

CE600L/CE602L(ローカルユニット)

LED	動作状況
リンク(グリーン)	<ul style="list-style-type: none">◆ 点灯している場合は、リモートユニットとの接続が OK であることを表しています。◆ 点滅している場合は、リモートユニットとの接続に問題があることを表しています。
電源(グリーン)	<ul style="list-style-type: none">◆ 点灯している場合は、リモートユニットに電源が入っていることを表します。

CE600R/CE602R(リモートユニット)

LED	動作状況
リンク(グリーン)	<ul style="list-style-type: none">◆ 点灯している場合は、ローカルユニットとの接続が OK であることを表しています。◆ 点滅している場合は、ローカルユニットとの接続に問題があることを表しています。
電源(グリーン)	<ul style="list-style-type: none">◆ 点灯している場合は、ローカルユニットに電源が入っていることを表します。

第4章

ファームウェアアップグレードユーティリティ

Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティ(ファイル名: CE600_602_ATEN_v1.x.xxx.exe)を使用して、本製品のファームウェアをアップグレードすることができます。

ユーティリティはデバイス毎にあるファームウェアアップグレードパッケージの一部となっています。新しいファームウェアのバージョンがリリースされると、ファームウェアアップグレードパッケージが弊社の Web サイトにアップされるので、下記 Web サイトにて最新のファームウェアや関連情報を定期的にご確認ください。

<http://www.atenjapan.jp/>

作業を始める前に

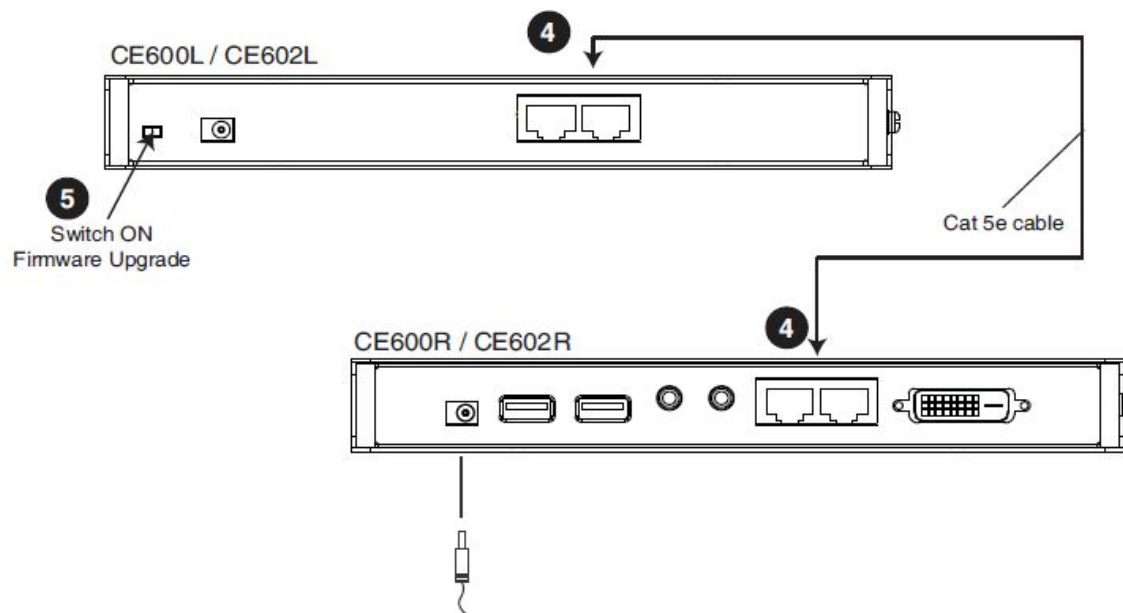
アップグレードを始める前に、以下の作業を行ってください。

1. ローカルユニットが接続されたコンピューターを使用して、弊社のインターネットサポートサイトからご使用のデバイスの型番(CE600/CE602)を選択し、利用可能なファームウェアアップグレードパッケージのリストを入手してください。
2. インストールするファームウェアアップグレードパッケージ(通常は最新版)を選択し、コンピューターにそれをダウンロードしてください。
3. RS-232 シリアルケーブルを使用して、コンピューターの RS-232 ポートと CE600L/CE602L の RS-232 ポートを接続してください。

注意: 本製品に RS-232 ケーブルは同梱されていません。

4. ローカルとリモートユニット両方がカテゴリ 5e ケーブルで接続されているのを確認した後、ローカルユニットの電源アダプターを外してください。

5. ローカルユニットのリアパネルにあるファームウェアアップグレードスイッチを **On** にしてください。
On にすると、ローカルユニットに再び電源を入れた際に、ローカルとリモートユニットの両方が
ファームウェアアップグレードモードを起動します。

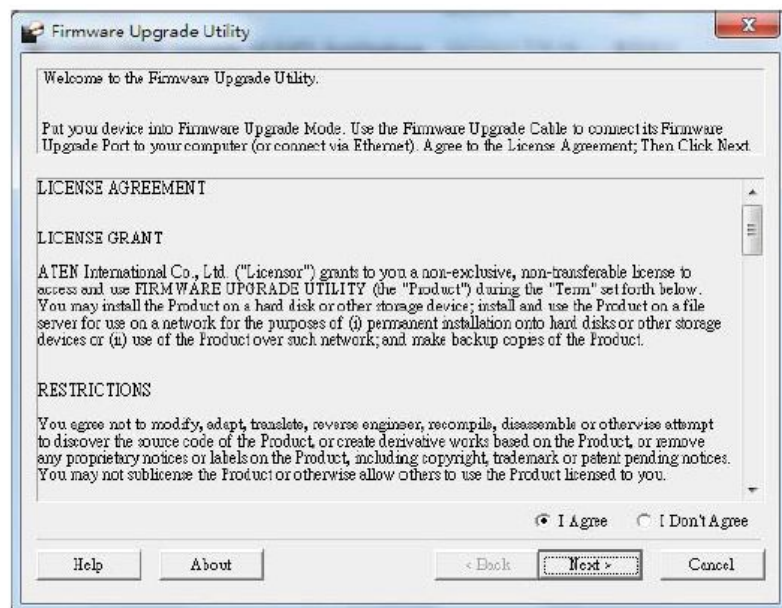


6. ローカルユニットに電源アダプターを接続して、電源を入れてください。

アップグレードの開始

下記の手順に従ってファームウェアをアップグレードしてください。

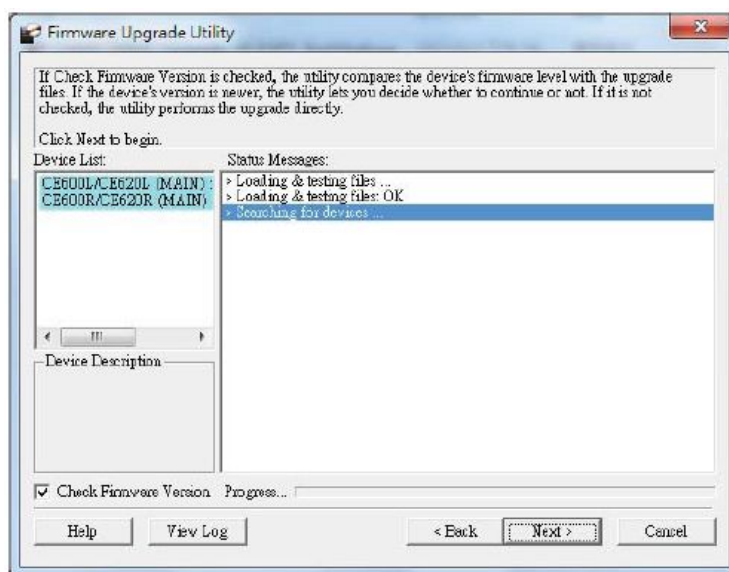
1. アイコンをダブルクリックするか、またはコマンドラインにフルパスを入力するかして、ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージファイルを実行してください。
ファームウェアアップグレードユーティリティの初期画面が表示されます。



注意: この項目で表している画面の図は参照用です。ファームウェアアップグレードユーティリティの実際の画面では文章やレイアウトがこれらの図例と多少異なることがあります。

2. ライセンス使用許諾契約を確認し、同意する場合は「I Agree」ボタンを有効にしてください。

3. 「Next」ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。



ユーティリティがセットアップされた機器を検査します。ローカルとリモートユニットが「**Device List**(デバイスリスト)」パネルに表示され、アップグレードするように自動的に選択されます。

4. 「Next」をクリックしてアップグレードを実行してください。

「**Check Firmware Version**」を有効にするとユーティリティはデバイスのファームウェアのバージョンとファームウェアアップグレードファイルのバージョンとを比較します。デバイスのファームウェアのバージョンがアップグレードファイルのバージョンよりも新しければ、ダイアログボックスにその旨が表示されるので、このままアップグレードを続ける場合は「**Continue**」を、キャンセルする場合は「**Cancel**」を選択してください。

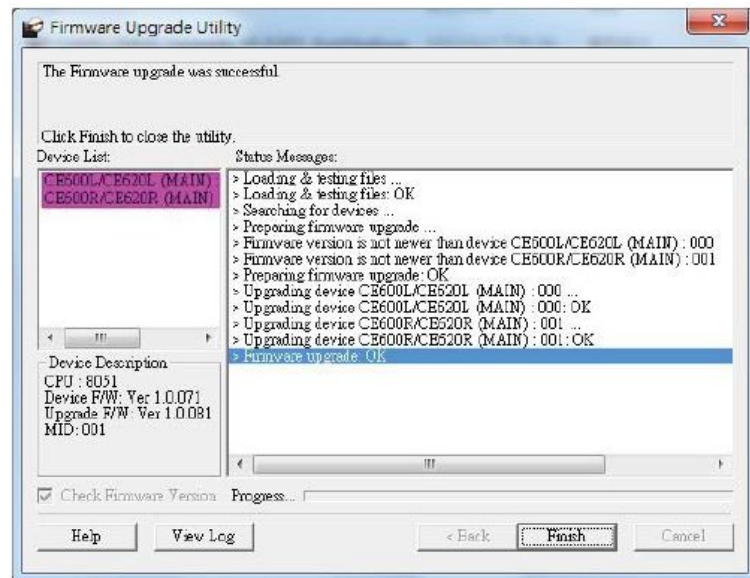
「**Check Firmware Version**」を有効にしなかった場合、ユーティリティはデバイスのファームウェアとアップグレードファイルのバージョンを比較せずにそのままインストールされます。

アップグレードの進行具合は「**Status Messages**」パネルに表示され、また**プログレスバー**に進捗状況が表示されます。「**Device List**」パネルにあるデバイス名の色は下記の状況を表しています。

- ◆ グリーン: デバイスをアップグレードする準備中。
- ◆ ブルー: ファームウェアアップグレードの実行中。
- ◆ レッド: ファームウェアのアップグレードに成功。

アップグレードの成功

アップグレードが完了すると、以下の画面が表示され、アップグレードが成功したことを表します。



1. 「**Finish**」をクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。
2. ファームウェアのアップグレードに成功した後、ローカルユニットの電源アダプターを外してください。
3. ファームウェアアップグレードスイッチを **Off** にして、ローカルとリモートユニットのファームウェアアップグレードモードを終了してください。
4. ローカルユニットに電源アダプターを接続して、電源を入れてください。

アップグレードの失敗

「Upgrade Succeeded(アップグレード成功)」の画面が表示されない場合は、アップグレードに失敗したことを意味します。アップグレードの手順を最初からまたやり直してください。

付録

製品仕様

CE600

機能		CE600L	CE600R
コンピューター接続数		1	-
コンソール接続数		-	1
コンピューター側対応 インターフェース	キーボード	USB	-
	マウス		
コンソール側対応 インターフェース	キーボード	-	USB
	マウス		
コンピューター側 コネクタ	キーボード	USB タイプ B メス×1	-
	マウス		
	モニター	DVI-D メス×1	-
	スピーカー	ミニオーディオジャック×1	-
	マイク	ミニオーディオジャック×1	-
	RS-232	DB9 ピンメス×1	-
コンソール側 コネクタ	キーボード	-	USB タイプ A メス×1
	マウス	-	USB タイプ A メス×1
	モニター	-	DVI-D メス×1
	スピーカー	-	ミニオーディオジャック×1
	マイク	-	ミニオーディオジャック×1
	RS-232	-	DB9 ピンオス×1
スイッチ		-	イコライザースライダー×1
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
ユニット間接続(サブ/メイン)		RJ-45×2	
LED	リンク	グリーン×1	グリーン×1
	電源	グリーン×1	グリーン×1
キーボード・マウスエミュレーション		USB	

(表は次ページへと続きます。)

機能		CE600L	CE600R
電源仕様(アダプター)		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC100～240V 50～60Hz 出力:DC5.3V 2.4A	
消費電力		2.65W	4.24W
最大延長距離		60m	
解像度		1,920×1,200@60Hz (30m) 1,024×768@60Hz (60m)	
動作環境	動作温度	0～50℃	
	保管温度	-20～60℃	
	湿度	0～80%RH、結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		480g	480g
サイズ(W×D×H)		202×85.4×25 mm	202×87×25 mm
同梱品		2L-7D02U(1.8m)ケーブル×1 電源アダプター×2 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1	

CE602

機能		CE602L	CE602R
コンピューター接続数		1	－
コンソール接続数		－	1
コンピューター側対応 インターフェース	キーボード	USB	－
	マウス		
コンソール側対応 インターフェース	キーボード	－	USB
	マウス		
コンピューター側 コネクタ	キーボード	USB タイプ B メス×1	－
	マウス		
	モニター	DVI-D メス×1	－
	スピーカー	ミニオーディオジャック×1	－
	マイク	ミニオーディオジャック×1	－
	RS-232	DB9 ピンメス×1	－
コンソール側 コネクタ	キーボード	－	USB タイプ A メス×1
	マウス	－	USB タイプ A メス×1
	モニター	－	DVI-D メス×1
	スピーカー	－	ミニオーディオジャック×1
	マイク	－	ミニオーディオジャック×1
	RS-232	－	DB9 ピンオス×1
スイッチ		－	イコライザースライダー×1
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
ユニット間接続(サブ/メイン)		RJ-45×2	
LED	リンク	グリーン×1	グリーン×1
	電源	グリーン×1	グリーン×1
キーボード・マウスエミュレーション		USB	
電源仕様(アダプター)		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC100～240V 50～60Hz 出力:DC5.3V 2.4A	
消費電力		3.18W	5.04W
最大延長距離		60m	

(表は次ページへと続きます。)

機能		CE602L	CE602R
解像度		2,560×1,600@60Hz (40m) 1,920×1,200@60Hz (30m) 1,024×768@60Hz (60m)	
動作環境	動作温度	0～50℃	
	保管温度	-20～60℃	
	湿度	0～80%RH、結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		480g	480g
サイズ(W×D×H)		202×85.4×25 mm	202×87×25 mm
同梱品		2L-7D02UD(1.8m)ケーブル×1 電源アダプター×2 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1	

トラブルシューティング

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まずケーブルが各ポートに正しく接続されていることを確認してください。

問題	解決方法
画面に何も表示されない	使用するケーブルがすべて正しく接続されていることを確認してください。
表示画質が悪い	CE600R/CE602R にある EQ スイッチを調節してビデオ信号の補正値を上げたり下げたりすることで画質を改善することができます。
	リフレッシュレートを下げて表示画質を上げてください。